

# 新 評 論

2016

3

No.264

発行所 © 新 評 論 2016年  
 〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28  
 TEL03-6226-7391 FAX03-3202-5832  
 http://www.shinhyoron.co.jp  
 e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp  
 振 替 00160-1-113487 価格税抜



東日本大震災に際し、福島県内の避難所で炊き出しに参加する群馬県大泉町在住のブラジル人たち（提供：大泉町企画部国際協働課）

サッカーやカーニバルだけじゃない！日伯関係から社会の現状まで懇切に解説、研究・ビジネスに必携の最新・決定版ガイド！

## 新版 現代ブラジル事典

ブラジル日本商工会議所 編

『新版 現代ブラジル事典』編集委員会

(阿部博友 子安昭子 近田亮平 桜井敏浩 佐藤美由紀  
 二宮康史 浜口伸明 丸山浩明 山崎圭一)

◆ジャンル：日伯交流、ブラジルの政治・経済・産業・社会・環境・法制度

ブラジルは日本から最も遠い国の一つですが、ビジネス、文化、スポーツ等を通じた両国間の交流は近年ますます盛んになっていきます。

一〇二〇年以上にわたる両国関係の最大の特徴は人的交流にあります。長い歴史を持つ日本人のブラジル移住、一九九〇年代以降に増加した日系ブラジル人の来日によって、両国は互いに「多くの自国民とその子孫が住む国土」の関係にあります。ブラジルは世界最大の日系人居住地であり、日本は世界第二位のブラジル人居住地です（二〇一二年ブラジル外務省統計）。日系ブラジル人を介して、ブラジルでは親日・知日の情が広がり、日本では多文化共生への関心が高まりました。ブラジルをよりよく知ることは、日本人と日本社会の国際化について考えるきっかけともなるでしょう。

ブラジルは資源大国として世界の経済成長を支える一方で、国内市場に世界の主要企業が進出するグローバル経済の最前線の一つでもあります。同時に、経済発展にもなうアマゾン自然破壊は地球環境問題のホットスポットでもありまた。多様な人種・民族が共存する多文化社会であり、トップアスリートや世界的

アーティストを輩出し続けるタレントの宝庫でもあります。二〇一四年のサッカー・ワールドカップに続いて、今夏にはリオデジャネイロでオリンピックが開催される予定であり、日本人がブラジルを訪れる機会もますます増えると予想されます。

本書は、昨今のブラジルへの関心の高まりに応えるべく、ダイナミックに変化する日本・ブラジル関係、政治・外交、経済、産業・ビジネス、社会政策・社会運動、環境と開発、法制度に関する最新情報を提供することを目的として、サンパウロを拠点に活動するブラジル日本商工会議所が企画・編集したものです（本書で割愛した自然・地理、歴史、文化などに関する事項については、引き続き二〇〇五年刊の旧版『現代ブラジル事典』をご利用ください）。執筆には第一線の研究者、経験豊富な官民の実務家など総勢四九名があたりました。編者・執筆者の一同、日本・ブラジル交流のさらなる深化のために本書を役立てていただければと願っています。（はまぐちのぶあき 神戸大学経済経営研究所教授）

A5上製 予二四〇頁 予三五〇〇円

ISBN978-4-7948-1033-5

3月刊

編者 ブラジルで活動する日本企業・地場企業を会員とし、会員の相互啓発、日本・ブラジル間の貿易・投資の促進、両国政府・関係機関への意見表明などの活動を行う。公式サイト(<http://jp.camaradojapao.org.br/>)でブラジルの経済、ビジネス、法律、治安などに関する情報を提供中。



忘れない。3.11。繁栄・豊かさ・幸福とは何か。私たちは日常の営みの尊さに気づかされた（仙台・荒浜地区／2011.4.24）。

なぜ日本社会はこうなってしまったのか。「近代日本人の生き方＝〈単身者主義〉」にその根本原因と克服の道を探る覚醒の書。

# 《被災世代》 へのメッセージ

これまで、そしてこれから／〈単身者本位社会〉を超えて

大森美紀彦

◆ジャンル：社会思想／近代論

本来ならば、2011年の東日本大震災・福島第一原発事故を契機に、日本はそれまでの歩みを反省的に振り返り、新しい時代に向けて再スタートすべきでした。しかし、その後誕生した安倍政権は、そうした反省は皆無で、経済成長主義という旧態依然の政策を全面的に復活させました。うたかたの繁栄の陰で、日本近代史の負の側面——軍事大国化、監視社会、貧困・差別問題が進行しています。

あの大震災・原発事故を契機に、日本人が省みなければならなかったのは何だったのでしょうか。近代国家・近代社会を形作ってきた私たち日本人の、根本的な生き方そのものであったと筆者は考えます。本書では〈単身者主義〉(Solitaryism)という概念を使って、この明治近代以来の日本人の「生き方」を問い直します。〈単身者主義〉は戦後を代表する政治学者神島二郎が作った概念ですが、その意味は「家族やコミュニティよりも国家や会社を重視し、バラバラな個人がその仕事にまい進する近代日本人の生き方」として、いわゆる独身主義(Dachelorism)とは異なります。〈単身者主義〉の人人が作り上げた日本社会が〈単身者本位社会〉です。この社会は、人々の生活の質よりも、会社、役所、国家の繁栄を優先してきました。

本書はまず、こうした〈単身者本位社会〉の現象面をとりあげ、それが欧米を

はじめとする他の国々といかに異なっているかを明らかにします。そして、そうした現象面の特徴がなぜ近代日本において形成されてきたのかを詳らかにします。

次に、現政権によって旧態依然の経済成長主義が進められているにも拘わらず、震災以降、人々の意識の底流にも拘わらず、「生き方」の問い直しが大きくなるとして生じていることを見えます。新聞記事等に見られるごく普通の人々の声をできるだけ拾い集め、また、自らのフィールドワークの報告を通じて、今日の日本社会に生じているこの「地殻変動」の身を明らかにします。

最後に、〈単身者主義〉の克服に向けて、今日の変動において一人以上の人間が「組む」ことの意味、それに基づく新たな連帯の方向性を提起します。家族、カッブル、友人という拠点をもち、そこできつかりと個人と個人が「組む」ことによつて、足腰の強い運動は育ち、新しい時代は開かれる、というのが本書の結論です。新しい時代の形成はまだしばらく時間がかりそうです。本書は、感受性目覚める最も多感な時期に、東日本大震災を経験した世代を「被災世代」(現在の中・高校生)と命名しました。未来を担うこの「被災世代」の皆さんに本書を捧げたいと思います。(おもしろ・みきひこ)

ISBN978-4-7948-1034-2 3月刊  
四六並製 予三〇頁 予一八〇〇円

著者 1952年東京都三鷹市生まれ。東京都職員を務めながら日本の政治や社会について考え続けた。立教大学で生涯の師となる故神島二郎教授と邂逅。成蹊大学大学院博士前期課程修了。2010年に『日本政治思想研究』(世織書房)を上梓。日本政治学会会員。



著者ロックハート

キース・デブリン(スタンフォード大学)すいせん!算数・数学の芸術性、表現の手法としての価値と魅力に気づかせてくれる名著!

# 算数・数学はアートだ!

ワクワクする問題を子どもたちに

ポール・ロックハート/吉田新一郎 訳

◆ジャンル:算数・数学教育

あなたは、算数・数学の授業が好きでしたか? 楽しんでいましたか? 訳者は、決して嫌いだったわけではありませんが、単位を得るため、卒業するために仕方なくお付き合いしていたというのが本音です。いずれにせよ、私たちはみなそれがどんな授業だったかは鮮明に覚えていません。

この本は、音楽家と画家が悪夢を見ている場面から始まります。音楽家は学校で、楽器を奏でることは一切許されず、ひたすら「ルールに従って」五線譜に記号を記す練習だけをさせられています。画家も同じように、キャンバスに絵を描くことなく、ワークシートのマス目に指定の色を塗る練習ばかりをさせられています。

夢だと気づいた二人は、ともに次のことを確認します。「どんな社会だろうと、音楽や美術といった美しく価値のある芸術を、くだらない作業に落とし込んだりはしないだろう。どんな社会だろうと、音楽や美術によって極めて自然に自分を表現することができる機会を、子どもたちから取り上げるなどという残酷なことはしないだろう。もしそんなことが起こったら、狂気としかいいようがない」と。

しかし、本書の著者に言わせると、私たちの知っている算数・数学は、まるっきりこうした悪夢にほかならず、その点で今の社会は狂気に陥っているのです。右の文の「音楽や美術」を、算数・数学に置き換えて読んでみて下さい。それでもピンとこないといすれば、ある種の感覚がすでに破壊されている証です。

幸いにも音楽と美術は、音楽家と画家が見た悪夢のような状況にはなっていません。算数・数学を音楽や美術以上にアートであると信じる著者は、本書の中でその本来の魅力を取り戻すための具体的な方法を提示しています。この本を読めば、「狂気の授業」のせいで算数・数学嫌いになってしまった人、仕方なしにやっていた人も、きつと「今からでもやってみようか」と思うはずで、(訳者がその生きた証拠です!)。生徒・学生時代から好きだった人は、さらに好きになることと請け合いです。(よしだ・しんいちろう)

ISBN978-4-7948-1035-9 3月刊  
四六並製 予二〇〇頁 予一八〇〇円

刊 たった一つを変えるだけ

評 (クラスも教師も自立する「質問づくり」)

好評 Dロスティン+レサタナ/吉田新一郎訳

※好評2刷出来!!

二四〇〇円

著者 Paul LOCKHART ブラウン大学とカリフォルニア大学サンタクルズ校で数学教授として長年教えた後に、2000年以來ニューヨークの私立学校セント・アイヴスで算数・数学を教えている。他の著書に「Measurement」(2014年)がある。

劇的かつ深刻な環境変化の下、地域経済の新たなモデルはいかにして構築しうるか。近畿・四国3県の取り組みにその可能性を探る試み。

# 人口減少化における 地域経済の再生

京都・滋賀・徳島に見る取り組み  
龍谷大学社会科学研究所叢書 第109巻

松岡憲司 編著

◆ジャンル:地域経済・地域産業



京都府北部・京丹後市の日本海牧場(農事組合法人)では、府内では珍しい日本短角種の牛を放牧で肥育している。

長期不況、財政危機、グローバル化、高齢化、人口減少は、日本経済全体だけでなく地域経済にも深刻な影響を及ぼしている。このような経済の環境変化の下、新しい地域経済モデルの構築が焦眉の課題となつて久しい。高齢者や女性の経済市場への参加促進、Uターン・Jターンやイターンによる人口減の食い止めといった方策に共通するのは、生活と調和する働き方、つまりワーク・ライフ・バランスが求められているという点である。都市の生活においては、仕事に追われ生活がながしろにされがちである。とりわけ女性には往々にして家事と仕事で二重の負荷がかかり、ワーク・ライフ・バランスを保つことが難しい。その解決策の一つと考えられているのが、在宅勤務やモバイル勤務などのテレワークである。また、これまでの地域産業政策に欠けていた、農林畜水産業と商工業を結びつける動きも近年活発化している。商工業の側からは「農工商連携」、農林畜水産業の側からは「六次産業化」と呼ばれる動きである。

本書は、京都府北部地域・徳島県・滋賀県の事例をもとに、特に人口減少化の

中で地域が生き残り再生を図るにはどのような方策がありうるかを検討したものである。京都府北部では伝統的な織物産業の分野で、若手経営者らがグローバル化にチャレンジしている。徳島県上勝町では、「葉っぱ」を「つまもの」として売出すことで新たな市場を開拓した。また同県神山町や美波町では、山間部や漁村に東京などのIT企業のサテライトオフィスを誘致することで地域再生に取り組んでいる。その他、女性企業家の新ビジネスや各地の農工商連携・六次産業化など多彩な取り組みを通じて、ワーク・ライフ・バランスをも視野に入れた新たな地域経済モデルの可能性を展望できればと思う。(まつおか・けんじ)

ISBN978-4-7948-1032-8

3月刊

A5上製 二四〇頁 予二八〇〇円

事業承継と地域産業の発展

(京都老舗企業の伝統と革新)

松岡憲司 編著

二八〇〇円

地域産業とネットワーク

(京都府北部を中心として)

松岡憲司 編

二八〇〇円

好評刊

生き続ける300年の織りモノづくり

(京都府北部・丹後ちりめん業の歩みから)

北野裕子

四〇〇〇円

編者 龍谷大学経済学部教授。専門は産業組織論、中小企業論。主要著作『風力発電機とデンマークモデル』(2004年)、『地域産業とネットワーク』(2010年・編著)、『事業承継と地域産業の発展—京都老舗企業の伝統と革新』(2013年・編著)など。

## アラフォーから始める オトナの英語学習法

けんたつきい

「しないほうがいい」40のこと  
英語圏在住7年の元講師が忙しい40代を強力バックアップ！  
四六並製 二〇八頁 一九〇〇円



## AO・推薦入試の黄本

小杉樹彦

「受験でも人間関係でも要となる人生の4つのキホン」  
「こっすん」直伝、AO・推薦入試のコツ満載！  
A5並製 一八四頁 一五〇〇円



## スウェーデンにおける 高校の教育課程改革

本所恵

「専門性に結び付いた共通性の模索」  
偏差値も入試もない、生徒本位の仕組みづくりのために。  
A5上製 二四〇頁 二五〇〇円



## イケアとスウェーデン

S・クリストフエション／太田美幸訳

「福祉国家イメージの文化史」  
福祉先進国の理念と結びつく、世界最大の家具販売店のデザイン・経営戦略。  
四六並製 三三八頁 二八〇〇円



## 政治思想家としての グルトヴィ

オウエ・コーズゴ／清水満訳

著名な教育改革者の政治思想に光を当てる意欲作。民主国家デンマークの成立過程が浮き彫りに。  
四六並製 二八八頁 二五〇〇円



## スヌーズレンを 利用しよう！

河本佳子編著

「資格がなくても簡単にできる」  
感覚を刺激する「バリアフリーの部屋」の実践方法を詳しく紹介！  
四六上製 二二六頁 二〇〇〇円



## 東日本大震災と 地域産業復興

関満博

「2014.9.11〜2016.3.11 福島」  
被災中小企業の行方。全編福島に注力した入魂のシリーズ最終巻！  
A5上製 四六四頁 五〇〇〇円



## 外食国際化の ダイナミズム

川端基夫

「新しい「越境のかたち」」  
空前とも言える外食業の「海外進出の実態」を精緻な調査で分析・解明！  
四六上製 二五六頁 二八〇〇円



# 桃井治郎 『アルジェリア人質事件の深層』

暴力の連鎖に抗する  
「否テロ」の思想のために

## テロの背景を考察 社会改善へ カミユの思想注目

■「読売新聞」『ひゅーまん愛知』

2013年に北アフリカのアルジェリアで起きたイスラム過激派による人質事件に関する国内初の研究書「アルジェリア人質事件の深層」(新評論)を今年(2015年)10月に出版し、関係者から注目を集めている。

地中海に面したアルジェリアは、南部に広大な砂漠地帯があり、原油と天然ガスの産出量で世界有数の規模を誇る。フランスからの独立後、民主化の過程で政府と武装勢力との激しい闘争が続き、1990年代以降はテロ事件が頻発した。テロは01年の米同時テ

ロを機に世界へ拡散し、チュニジアの博物館襲撃事件やパリの同時テロなど、悲惨な事件が繰り返されている。

人質事件があったのは、東部の砂漠の中の町・イナメナス近郊にある天然ガスのプラントと従業員らの居住区。現地の日本大使館で専門調査員を務めていた当時、世話になった日本企業の関係者も犠牲になったといい、「とてもショックだった」。本の執筆は、「なぜこのような事件が起きたのかを考えてみたい」との思いが出発点だったという。「深層」では、アルジェリア

(2015年12月28日付)より

政府の発表や各国メディアの報道などをもとに事件を振り返り、植民地時代からのアルジェリアの歩みを検証。過激派組織が生まれた背景とともに、人質事件を含むテロリズム全般について考察している。「テロ根絶を叫ぶだけでは、問題の解決にはならないと思う」。テロのない社会をいかに築くかを考えるうえで、いま最も注目しているのが、アルジェリア生まれのノーベル賞作家アルベル・カミユだという。1954年から8年間続いた仏当局とアルジェリア民族解放戦線(FLN)との

凄惨な独立戦争を経験したカミユは、暴力や恐怖によって社会を変えようとするテロを拒絶する姿勢を貫き、暴力を容認しない社会を地道に築いていくことの大切さを訴えた。

1月20日には、著書の出版記念を兼ねたシンポジウム「テロリズムの時代を考える」が、中部大学リサーチセンターで開かれる。これまでの研究成果について報告する予定で、「暴力の連鎖に陥ることなく社会の改善に取り組んだカミユの思想が重要なのだ」ということを訴えたい」と話す。

四六並製 一三三頁 二〇〇〇円

各紙絶賛

ISBN978-4-7948-1022-9

アルジェリア  
暴力の連鎖に抗する「否テロ」の思想のために

人質事件の  
桃井治郎

深層

蔓延する暴力主義との  
不眠の闘争に向けて

## 本を売る

## 本は走る

8時40分頃セカセカと出社。仕入室にある早朝入荷分の商品を確認。PC・レジの立ち上げ、店の開店準備をしつつ事務室兼休憩室に上がり、ネクタイ・エプロン着用。デスクのPCを立ち上げて昨日の売上を確認、店舗共有のスケジュールとメールをチェック。小走りに1階へ下りて、検品に取り掛かる。9時15分、朝礼。売上報告、各自連絡事項伝達のち、接客用語唱和。自分とスタッフ1名で書籍検品を何とか開店までに終わらせ、10時開店。店内併設のカフェシヤッターが開いておらず慌てる。エスカレーターも起動させていなかった。走る。

担当の2階は社会・ビジネス・芸術・理工書フロア。仕分けした書籍をブックトラックで運び、各担当者の持ち場に振り分けながら自分の担当分を品出し。電話が鳴ればタッシュ。レジ応援の呼び出しがあれば1階へ急行。近隣の小取次からの入荷があれば1階仕入へ駆け足。店舗である1階から

3階を行き来しているうちに新刊午後便が入荷。荷受け、検品。早く品出ししたくて、焦る。

12時、店が混み始め、レジ応援呼び出しもしばしば。問合せ対応で上階に走っては戻って検品、品出し、仕分け作業を急ぐ。13時、休憩時間。30分ほどで弁当を掻き込み、デスクに戻って明日のシフト作成、メール返信、電話での発注。14時からレジ。出版社からのFAXや売上スリップを確認し発注作業をしながら接客。15時、残りの品出しにとりかかる。中小取次の搬入、出版社の営業担当者との商談、打ち合わせ、レジ応援との商談を縫って担当分と休みのスタッフ分の品出してチヨコマカと疾駆。空き時間にセッセと書籍の返品作業。17時半頃、本日入荷分の伝票をまとめて財務経理部に提出。伝票訂正やフェア企画書のまとめなどデスク作業をしているともう退社時間だ。

片付かない日々の業務に追われて走っている。本に走らされていると言えるかもしれない。そして本も日々売場で走っている。

東京堂書店神田神保町店 竹田学

本誌表示価格はすべて税抜です。

## 書評日誌(10・1~10・22)

## ●書評 ●紹介 ●関連記事

- 9/上 ①出版ニュース『政の言葉から読み解く戦後70年』
- 9/下 ①出版ニュース『歌で革命に挑んだ男』
- 10・1 ①朝日新聞(折々のことば179)『恋愛について』(鷲田清一)  
②日中文化交流『歌で革命に挑んだ男』  
③保育通信『ふってもはれても』(城戸久夫)  
④日本と中国『歌で革命に挑んだ男』
- 10・3 ①読売新聞(静岡版)『三嶋暦とせせらぎのまち』
- 10・4 ①西日本新聞『政の言葉から読み解く戦後70年』
- 10・5 ①日中友好新聞『歌で革命に挑んだ男』
- 10・10 ①東京新聞『歌で革命に挑んだ男』(楊逸)
- 10・13 ①国際貿易『歌で革命に挑んだ男』(汪婉・駐日中国大使夫人)
- 10・16 ①日本経済新聞『三嶋暦とせせらぎのまち』(河合龍明・三嶋暦の会会長寄稿)
- 10・21 ①毎日新聞(静岡版)『三嶋暦とせせらぎのまち』
- 10・22 ①朝日新聞(静岡版)『三嶋暦とせせらぎのまち』
- 9・10月号 ①東京新聞・読者の生活情報誌『暮らすめいと』『政の言葉から読み解く戦後70年』  
②書評(関西大学生協)『君ひとの子の師であれば』(国分一太郎文集(1、3、4、10)『新しい綴り方教室』)  
③改革者『政の言葉から読み解く戦後70年』
- 10月 ①りんご通信(大阪市立中央図書館ヤングコーナー)『ギヴァー 記憶を注ぐ者』

## 本を読む

## 歌で革命に挑んだ男

雑誌「東方」(東方書店刊)の書評で知り購入しました。大学の図書館にも蔵書申請したところ、すぐに購入してくれました。201

3年、聶耳の故郷雲南省昆明の西山龍門でリフトに乗り、彼の碑に詣でました。14年12月には小松翠さんの案内で、聶耳が溺死した鶴沼海岸も訪れました。著者の岡崎さんにも以前お会いしたことがあったと記憶しています。人の一生はその長さではなく、いかにいのちを燃やしたかにあるということが、本書を通じてよくわかりました。中国国歌は歌詞・曲ともに世界中に訴えかけるすばらしい曲です。(茨木市 大学院生 藤田美代子 68歳)

## グローバル化・変革主体・NGO

NGOを取り巻く状況・環境がよく整理されている。事例を絞っている面もあり、普遍性がないという批判もあるかもしれないが、

もともとNGOとは多様なものなのだから、実態をアカデミックな手法で分析してみせてくれた益が勝る。(白井市 会社員 牛腸訓安 57歳)

「改訂版」立地ウォーズ

かつてショッピングセンター

(S.C)開発に携わった時、「立地」には大いに悩みました。本書を読んだ上で当時を思い出すと冷汗ものです。体系的にまとめられており、語り口も平易で、適切な「教科書」だと思えます。(神戸市 まちづくりプランナー 山本敬二)

## 好評刊

## 歌で革命に挑んだ男

(中国国歌作曲者・聶耳と日本)

岡崎雄児

二八〇〇円

崩壊5段階説(生き残る者の知恵)

ドミートリー・オルロフ/大谷正幸 訳

五〇〇〇円

## グローバル化・変革主体・NGO

(世界におけるNGOの行動と理論)

美根樹樹 編

三〇〇〇円

## 「改訂版」立地ウォーズ

(企業・地域の成長戦略と場所のチカラ)

川端基夫

二四〇〇円

## 編集部から

## ロングセラー「現代ブラジル事典」

待望の最新版が刊行されます。今網羅の総合事典だった旧版に対し、今回は二〇〇〇年代以降の動向に記述を絞り、地域研究はもろんビジネスや観光でも便利に使えるコンパクトな「ブラジルガイド」となっています。出張や旅のお供に、スポーツ観戦の予習に、ぜひお役立て下さい! 大ヒット中の「たった一つを変えるだけ」訳者 吉田新一郎さんが、またまた話題作を翻訳してくれました!

新刊「算数・数学はアートの原書」副題は、「学校で算数を習ったら、こよなく興味深く創意に富んだ芸術形式を奪われてしまう」というもの。著者自身、一四歳で数学に目覚めたのは「学校の外で」だったとか。算数・数学が好きなお子さんはもちろん、苦手意識のある方、お父さんが嫌い・苦手でお困りの方、必読の啓蒙書です。

## 営業部から

## 直近3カ月(2015年11月)

ベスト15をご紹介します。

- ① たった一つを変えるだけ
- ② イケアとスウェーデン
- ③ 新・受験技法 医学部合格の極意
- ④ ラテンアメリカ21世紀の社会と女性
- ⑤ 中山間地域の「買い物弱者」を支える
- ⑥ 崩壊5段階説
- ⑦ 2016年度版 新・受験技法
- ⑧ 戦争を指導した七人の男たち
- ⑨ アルジェリア人質事件の深層
- ⑩ ふつてもはれても
- ⑪ 食べる?
- ⑫ 食品セシウム測定データ745
- ⑬ ギヴアー 記憶を注ぐ者
- ⑭ 「改訂版」学校に頼らない
- ⑮ 和田式・中高一貫カリキュラム
- ⑯ 動物と戦争
- ⑰ 地方創生を考える

## SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送料無料で送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中から「希望の本を1冊無料進呈する特典もございます」。

「入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。